

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。  
心弾む新生活。充実した学生生活を送るヒントを先輩たちから  
もらいましたので、ぜひ参考にしてみてください。



## お気に入りの場所を発掘し、 徳島での生活を楽しんでいます

蔵本キャンパス 薬学部 創製薬科学科 4年  
瀧澤 伶奈 (たきざわれな)

### My Life Situation

部活: 薬学部硬式テニス部  
趣味: カフェ巡り、古着  
アルバイト: 接客業(カフェ)



1年生の夏に部活のメンバーで行った  
かずら橋。「橋は足が落ちてしまうほど  
間隔が広くて驚きました」。



研究室での様子。TLC(薄層クロマト  
グラフィ)を使用中。



常三島キャンパスの近くにあるコー  
ヒースタンドのモーニング。「コーヒ  
ーの香りに包まれたお洒落な店内は、リ  
ラックスできる空間でした」。



購入したギター(写真の右手前)。  
ボディの木目がお気に入り。

今号は新入生歓迎号なので、新  
入生へのアドバイスをお願いする  
と「たくさん遊び、新しいことに  
挑戦してほしい。」という答えが。  
「部活やサークルに入って、大学内  
でのつながりを広げたり、アルバイ  
トを始めたりするのいいと思いま  
す。部活・サークルの新歓は同級  
生や先輩と知り合う機会になるし、  
新歓に参加しても必ず入部しなけ  
ればいけないわけではないので、ぜ  
ひ積極的に参加してみてください。  
アルバイトは人生経験として役に  
立つし、なにより自分で稼いだお

金で欲しいものを買えることはと  
ても嬉しいですね。それから、車  
の免許は1、2年生のうちに取るの  
がおすすです。私の周りでは合  
宿よりも教習所に通って免許を取  
る人の方が多かったです」。

資格取得にも興味を持ち、化粧  
品検定の勉強をしているそう。コ  
ロナ前は部活の先輩・同級生と祖  
谷のかずら橋へ行き、吉野川でラ  
フティングを体験したことがある  
のだとか。外出自粛が呼びかけら  
れるようになると、楽器を持って  
いる友達に感化されてギターを始

めたり、興味のあることにチャレ  
ンジしているといいます。

今は生薬学研究室で研究に専念  
していて、植物や海洋生物などか  
ら生物活性天然物を探索している  
そうですが、瀧澤さんのテーマは  
蓮(ハス)の花。レンコンは徳島  
の名産ですが、花の部分はあまり  
有効利用されていないのだとか。

「ハスの花の成分探索中に緑、  
ピンク、黄色などの色素成分の色  
を確認できるのは面白いです。巨  
大な乳鉢と乳棒を使ってハスの花  
のサンプルと粉体を混合した時に

は、腕が筋肉痛になりました。先  
輩のテーマを譲り受けて行ってい  
る研究ですが、このテーマを引き  
継いで良かったです。地域特産物  
の未利用部位の新たな利用法を発  
見して、地域に貢献したいです」。

休みの日は気分転換も兼ねて、  
お気に入りの古着屋さんへ出かけ  
たり、カフェ巡りをするのことも。  
自転車でも移動して「新しい店を  
発掘するのも楽しい」という瀧澤  
さん。コロナ禍で制限があっても、  
自分らしく学生生活を楽しむ姿に  
好感がもてました。



## 運動が好きな人、ボートが好きな人は ぜひ入部して一緒にボートをやりましょう!

常三島キャンパス 生物資源産業界学部 生物資源産業界学科 2年  
池田 汐里 (いけだしおり)

### My Life Situation

部活: ボート部  
趣味: 運動全般  
アルバイト: 飲食店



普段から体を動かすのが好きで、休みの日は自宅でトレーニングをしたり、総合グ  
ラウンドのトレーニング室を活用したりしているそう。

ボート部で副主務を務める池田  
さん。国体予選の四国ブロック大会  
の徳島代表で出場して準優勝して  
四国代表となり、四国学生選手権  
女子シングルで優勝、中国学生選  
手権の女子シングルでも優勝と、1  
年生ながら輝かしい成績を残して  
います。

それもそのはず。高校時代から  
ボートを続ける池田さんは、強豪  
校として知られる愛媛県松山東高  
校出身。松山東のボート部といえ  
ば、田中麗奈主演の映画『がんばっ  
ていきましょい』(1998年公開)  
のモデルにもなった高校です。

当然、練習も厳しかったそうです

ボート部は3年生もあわせると15人。  
池田さんが先輩達に漕ぎ方を教える  
こともあるくらい、その実力に一目置か  
れています。普段はフジグラン北島近  
くの今切川で練習をしています。



が、大学でもボートを続けようと  
思った理由は何だったのでしょうか？  
「高校生のとき、愛媛県予選に勝っ  
て全国大会の出場枠をもらったんで  
すが、コロナで大会が中止になっ  
て、総体も地方予選からすべてなくな  
り、不完全燃焼だったので大学でも  
続けようかな」と。

大学では栄養学を学びたいと考  
えていて、ボートと栄養学が両方  
できるという条件で、徳島大  
学への進学を決めたといいます。

「はじめは医学部医科栄養学科を  
考えていたのですが、徳島大学に通  
っている兄から『同じ部活の子で生  
物資源産業界学部から栄養の研究室

に入って学んでいる子もいるよ」と  
か、『生物資源産業界学部でも栄養の  
研究をしている人もいる』と聞いて、  
それなら生物資源産業界部にしよ  
うか、と」。

入学後はボート漬けの日々。徳  
島市立高校のボート部と一緒に練習  
したり、指導を行うこともあるの  
だとか。「私のような経験者もまれ  
にいますが、ボートはカレッジスポー  
ツなので、多くが大学から始めま  
す。みんなスタートは同じなので新  
しいことに挑戦してみたい人、ボー  
トをやってみたい人、やりたい人は  
ぜひ入部してください。一緒に  
ボートをやりましょう!!」